

# 第1回 主題研究

R7.5.29

研修部

## 1 主題・副主題

### 「思考力・表現力を育てる授業づくり」 ～各教科における「書く活動」の指導の工夫を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会の動向から

学習指導要領では、「書くこと」は、思考力・判断力・表現力を駆使し、相手に自分の考えを明確に伝えるための総合的な力として定義されており、単に文章を上手に書く技術を身につけるだけでなく、言葉を通して自分の考えを深め、それを相手に伝えるための能力を育むことが重要視されている。情報化社会の進展に伴い、文章による表現力やコミュニケーション能力の重要性が一層高まっている今日の社会において、「書くこと」の指導の工夫を通して言葉による見方・考え方を働かせ、言葉の意味や働き、使い方を意識することで、言葉に対する意識を高めていくことは意義深い。

### (2) 本校の実態から

各調査結果から本校の児童の実態を見ると、国語科では、「情報を選び構成を考えて書くこと」や「文や文章を正しく書くこと」が全国比を大きく下回っており、記述式を無回答としている児童も多い。算数科では、「伴って変わる2つの数量」や「データの活用」が全国比を下回っており、誤答や無回答率が高く、文章を読み取って解答する問題や記述式において課題が見られる。

また、日常の評価テストにおいては、「長文の読み取り」や「書くこと」に抵抗感のある児童や前学年までの学習内容が身につけていないため「学び直し」を必要とする児童も多く存在しているのが現状である。

本研究において、「書く活動」の指導の工夫を通して思考力・表現力を育成することは本校の児童にとって意義深い。

## 3 主題・副主題の意味

### (1) 主題の意味

「思考力・表現力を育てる授業づくり」とは、「考えながら表現する」「表現しながら考える」活動を充実させることで、思考力と表現力を一体的に育てていく授業をつくることである。

### (2) 副主題の意味

「各教科における『書く活動』の指導法の工夫」とは、各教科において、書くことについての意欲を持たせ、書かせる内容や書かせる方法などの視点を明らかにしたうえ

で、指導することである。筑豊教育事務所の作成した「書く活動ポイント9」を参考にして授業を行う。

### (3) 「書く活動」についての目標

- 〈低学年〉 順序に気を付けて主述を明確にして書く
- 〈中学年〉 自分の考えを、理由や事例を挙げて書く。
- 〈高学年〉 条件に合わせて、三角ロジックを使って書く。

## 4 研究の仮説

以下の2つの視点で学習展開の工夫を行えば、思いや考えを豊かに表現できる子どもを育てることができるであろう。

### (1) 着眼1

書く意欲を高める課題の工夫

- ① 児童の身近な課題、共通した体験などから生まれた課題の工夫
- ② 児童の主体性を促す問いの工夫

### (2) 着眼2

書くことによって思考を深めさせるための工夫

- ① 「書く活動」を行う場面を決める
- ② 目的・内容・思考方法を意識させる
- ③ ねらいに迫る書かせ方を工夫する
- ④ 個別に評価する
- ⑤ 条件を指定する
- ⑥ 複数の資料を関連付ける
- ⑦ 三角ロジックを使う
- ⑧ 表現モデルを参考にする
- ⑨ 見直して再度書く

## 5 研究の方法

### (1) 研究授業

- ① 公開授業について
  - ・ 授業を全職員が行う。
  - ・ 指導案の形式については別途提案。教科・領域は自由。
- ② 全研について
  - ・ 全研は低学年部会、中学年部会、高学年部会、特別支援学級部会から2クラス実施し、全体で事前研修・検証授業・事後研修を行う。
- ③ 部研について
  - ・ 部研は低学年部会、中学年部会、高学年部会、特別支援学級部会から1クラスず

つ実施し、管理職、研修部、部会メンバーが参観する。参観の前に指導案を検討し（参観の視点の確認等）、参観者で事後研修をとる。

- ・ 授業後には必ず事後研修（協議会）を実施し、記録を提出する。

④ 指導案について

- ・ 夏休みに各部会を実施し、指導案作成および指導案審議を行う

※ 実施希望日（9.18 9.25 か 11.13 11.20）、単元等が決まり次第、研修部に報告する。

(2) 検証方法

- ・ 児童の思考力・表現力の高まりを検証するために、「事前・事後アンケート」「事前・事後の課題解決シートの変容」「学習の振り返り」「ワークシート」「担任や参観者による子どもの発言や様子の記録」などをデータとして、児童の変容を具体的・客観的に分析し、実践のまとめを作成する。

(3) 研究組織

- ・ 低学年・中学年・高学年・特別支援学級の4部会を編成し、研究を進めていく。

